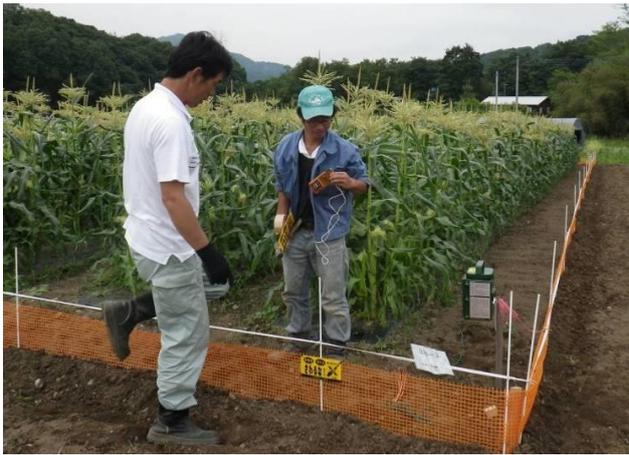


## らくらく 「楽落くん」で楽～に畑を守る！

ハクビシン、アライグマ、タヌキなどの中型動物被害対策として、スイートコーンやイチゴ、スイカなどの畑に、被害にあう時期にだけ設置するタイプの電気柵を開発しました。

「登る」のが得意なアライグマやハクビシン、「掘る」のが得意なタヌキやアナグマの両タイプに対し、絶妙な高さの柵で感電するよう誘導します。障害物が新たにできた際に動物が行う「探査」行動を逆手に取った電気柵です。

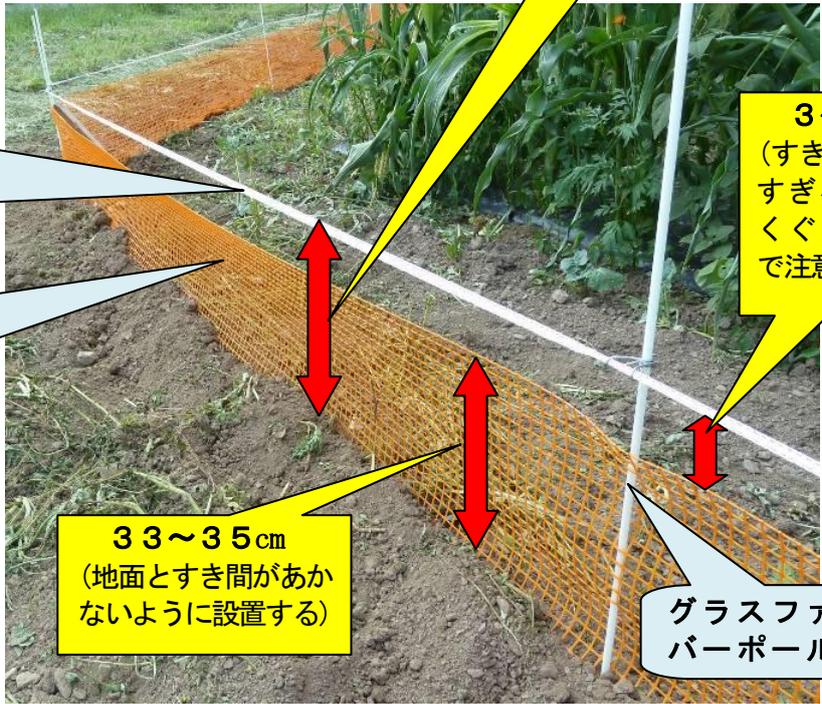
短時間で簡単に設置でき、低いので人間は畑にまたいで入れます。収穫が終わった後の片付けも楽です。



38 cm位  
(絶妙な高さ。低すぎても高すぎても良くない)

リボンワイヤー  
幅1 cmくらいのも  
を使用。白いの  
で夜でも目立  
つ。

トリカルネット  
高さ1 mの資材を  
1/3 に切断 (33cm)  
して使用する。



3~5 cm  
(すき間があき  
すぎると間を  
くぐられるの  
で注意！)

33~35 cm  
(地面とすき間があ  
かないように設  
置する)

グラスファイ  
バーポール

(農林総合研究センター 鳥獣害防除担当 TEL 0494-25-1660)